

全国月間火山概況（平成 25 年 2 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火の発生はありませんでした。火山性地震は少ない状態で経過していましたが、3月5日（期間外）以降やや増加しており、5日は67回、6日52回、7日10回、8日12時までで57回（速報値）とやや多い状態が続いています。新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2月にはやや少量となっています。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

硫黄島では、島西部の旧噴火口（通称：ミリオンダラーホール）で、17日から18日にかけて、小規模な水蒸気爆発が発生したと推測されます。旧噴火口では、2012年2月上旬から水蒸気爆発が度々発生していますが、噴出物の状況から、今回の事象はこの中では最大のものと推測されます。国土地理院の観測によると、地殻変動はほぼ停滞していましたが、2013年1月頃から、わずかに隆起の傾向がみられています。火口周辺警報（火口周辺危険）が継続しています。

箱根山では、駒ヶ岳から仙石原付近の浅部を震源とする地震活動は、消長を繰り返しながら継続し、10日や16日には一時的に地震が増加しましたが、18日以降、3月6日（期間外）まで、地震は少ない状態で経過しています。気象庁の体積ひずみ計や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、山体の膨張を示すわずかな変化がみられていますが、一部の観測点では2月中旬頃から鈍化する傾向がみられます。国土地理院の地殻変動観測結果では、2012年末頃から、箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向がみられています。箱根山では、2001年6月から10月にかけて地震が多発し、国土地理院等の地殻変動観測結果でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。現時点では、観測されている地殻変動は小さく、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

3月7日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表 1 3月7日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	レベル2（火口周辺規制）	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樺前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新湯焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌブリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、

		南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、 福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之 島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小 田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、 羅臼山、泊山
--	--	--

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

日光白根山【噴火予報(平常)】

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。25日午後から、日光白根山の山頂から北北東へ5～10 km付近で地震活動が活発化しました。25日16時23分に日光白根山の山頂から北北東へ約10 km、深さ約3 kmを震源とするマグニチュード(M) 6.3の地震が発生し、栃木県日光市湯元で最大震度5強を観測しました。その後も28日までに最大震度4から震度1を観測する地震が発生しました。27日以降、地震活動は低下してきています。火山性微動は観測されませんでした。

また、これらの活動に伴い、噴気活動や地殻変動は認められませんでした。

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

駒ヶ岳から仙石原付近の浅部を震源とする地震活動は、消長を繰り返しながら継続し、10日や16日には一時的に地震が増加しましたが、18日以降、3月6日(期間外)まで、地震は少ない状態で経過しています。気象庁の体積ひずみ計や、気象庁及び神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、山体の膨張を示すわずかな変化がみられていますが、2月中旬頃から鈍化する傾向がみられます。国土地理院の地殻変動観測結果では、2012年末頃から、箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向

がみられています。

箱根山では、2001 年 6 月から 10 月にかけて地震が多発し、国土地理院等の地殻変動観測結果でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。現時点では、観測されている地殻変動は小さく、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね 100～300m で経過しました。8 日及び 21 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたりそれぞれ 200 トン、400 トンで、今期間はやや少量の火山ガス放出が観測されました。三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

20 日に陸上自衛隊の協力により上空からの観測を実施しました。赤外熱映像装置による地表面温度分布観測では、山頂火口南側内壁に位置する主火口及びその周辺で引き続き高温領域が認められ、前回(2010 年 1 月)と比べてその状況に特段の変化は認められませんでした。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震は概ね少ない状態で経過しました。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS 連続観測によると、2000 年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています島の南北を挟む長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

硫黄島【火口周辺警報(火口周辺危険) 及び火山現象に関する海上警報】

島西部の旧噴火口(通称：ミリオンダラーホール)で、17 日から 18 日にかけ、小規模な水蒸気爆発が発生したと推測されます。

2012 年 4 月下旬から 5 月初めにかけて火山活動が活発化し、国土地理院の地殻変動観測では、急速な隆起の後に沈降を観測しました。その後、沈降傾向は鈍化し、ほぼ停滞していましたが、2013 年 1 月頃から、わずかに隆起の傾向がみられています。今期間、火山性地震が一時的に増加した日が時々ありました。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012 年 4 月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部(旧噴火口等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場【噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたりしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳)【火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)】

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火は 2011 年 3 月 1 日、噴火は 2011 年 9 月 7 日)。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上 200m 以下で経過しました。

火山性地震の月回数は 25 回(1 月：31 回)と、少ない状態で経過しました。震源は新燃岳の北東に 4 個決定しました。その他のほとんどの地震の震源は火口直下と推定されます。火山性微動は 2012 年 3 月以降観測されていません。

7 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出されませんでした。(前回 1 月 24 日：検出なし)。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は 2011 年 12 月以降鈍化・停滞しています。「えびの」－「牧園」、「牧園」

ー「都城2」の基線で、2012年5月頃からわずかに縮みの傾向が見られていましたが、同年9月頃から停滞しています。

13日に、海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。

火口内に蓄積された溶岩の形状や火口内の噴気の状況には、変化は認められませんでした。火口内に蓄積された溶岩の北側から東側及び南側に複数の噴気孔がみられ、火口内にとどまる程度の弱い白色の噴煙が主に北側と東側から上がっていました。また、溶岩上には前回(2012年11月8日)と同様に複数の水たまりが確認されました。赤外熱映像装置(2)による観測では、噴気がみられる部分や火口内に蓄積された溶岩の縁辺部(特に南側と北側)が比較的高温で、前回と比較して変化は認められませんでした。西側斜面の割れ目では、噴気は確認できませんでしたが、赤外熱映像装置による観測では、前回の観測と同様にやや温度の高い部分が認められました。

桜島【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は132回(1月:124回)で、そのうち爆発的噴火の回数は119回(1月:96回)と多い状態でした。また、大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達する爆発的噴火が5回発生しました。このうち23日04時10分の爆発的噴火では、噴火に伴いごく小規模な火砕流が発生し、東へ約400m流下しました。火砕流の発生は2012年12月26日以来です。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震の月回数は746回(1月:1,058回)と概ね少ない状態で経過しました。震源は南岳直下の海拔下2~4km付近でした。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は321回(1月:230回)でした。継続時間の月合計は87時間07分で、先月(11時間42分)に比べ増加しました。

7日、14日、21日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり800~1,900トン(1月:1,700~4,100トン)とやや多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、2012年8月頃から山体が沈降する傾向が認められていましたが、2013年1月頃から停滞し、2月頃から隆起の傾向となっています。GPS連続観測では2012年10月頃から桜島島内のわずかな縮みの傾向が見られましたが、2013年1月頃から鈍化しています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、降灰の月合計は24g/m²(降灰日数6日)でした。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した、火山灰の2013年1月の総噴出量は約40万トンでした。

13日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、昭和火口からは灰白色の噴煙が噴出し南へ流れていました。火口内の状況は、噴煙のため詳細は不明でした。また、火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。赤外熱映像装置による観測では、噴煙の噴出部分付近が高い温度となっていました。南岳山頂火口からは白色の噴煙が上がっていました。火口内の状況は、噴煙のため詳細は不明でした。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。3日にごく小規模な噴火が発生しました。噴煙活動に特段の変化はなく、噴煙は火口縁上200~300mで経過しました(最高500m)。同火口では期間を通して夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映(2)を観測しました。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、3日に集落(御岳の南南西約4km)でごく微量の降灰が確認されました。

火山性地震は諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震が2月19日から24日にかけて一時的に増加しました。19日19時21分に発生したマグニチュード3.6の地震では、十島村諏訪之瀬島で震度3を観測しました。そのほか震度1以上を観測した地震が10回発生しました。25日以降は少ない状態で経過しています。この地震活動に伴って、表面現象や傾斜計に特段の変化は認められませんでした。また、御岳火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は2012年9月28日からほぼ連続して発生しており、2月は常時発生しました。火山性微動の継続時間の月合計は672時間(1月:744時間)でした。

御岳火口では、長期にわたり噴火を繰り返しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧（第 3 版）による)

資料 1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 25 年 3 月 7 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17 日 噴火予報（平常） 2008年11月17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報 （レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2011年５月16日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年６月20日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年３月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月16日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年５月６日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年１月26日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2011年１月31日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年２月１日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年３月22日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年６月26日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年２月３日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年２月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年４月８日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年７月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年７月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年８月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年３月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年７月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2010年９月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2012年３月12日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年３月21日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年１月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年９月４日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年８月４日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年９月27日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル１、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年１月20日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、ア CANDANA 山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山